



## アクサ損害保険株式会社 仮想化環境の高いパフォーマンスに マルチコアの貢献を実感

「アクサダイレクト」のブランド名で知られるアクサ損害保険株式会社は、フランスで生まれた世界最大級の保険・金融グループ「AXAグループ」の日本法人として誕生。1999年より日本での営業活動を開始して以来、「安心をグッドプライスで」のコンセプトのもと、通信販売によるリスク細分型自動車保険の提供を主軸に発展を続けている。2007年7月には「アクサダイレクト総合自動車保険」の保有契約件数が50万件を突破するなど、ますますその勢いを加速させるアクサ損保は、次世代のビジネス基盤を実現するキーテクノロジーとして仮想化に注目。本格的導入への足掛かりとして、デルが提供するモニタープログラムに参加し、VMwareによる仮想化ソリューションとクアッドコアの親和性が社内高い評価を集めている。

アクサ損害保険株式会社は、AXAグループがヨーロッパ市場で培ったダイレクト（通信販売）ビジネスの経験を基に、1998年に日本で設立された。リスク区分に免許証の色を取り入れた「アクサダイレクト総合自動車保険」は好評で、2005年には、本格的なリスク細分型バイク保険も発売した。いずれも業界初。

<http://www.axa-direct.co.jp/>

### 背景

- ・ 案件単位またはプロジェクト単位で構築されてきたテスト環境の統合
- ・ テスト環境の構築に必要とされる時間や手間、コスト、設置スペースの削減

### ソリューション

- ・ VMware Infrastructure 3を用いた、仮想化によるサーバ統合

### 期待効果

- ・ テスト環境の構築作業を省力化し、開発現場のモチベーションを向上
- ・ 各仮想マシンの性能を確保することで、多様なシステム要件にスムーズに対応
- ・ テスト環境への導入を通じて取得したスキルやノウハウをベースに、本番環境への導入検討を本格化

### デル選定のポイント

- ・ 仮想化技術の導入を検討している中、デルが展開していたモニタープログラムに応募

### システム構成

- ・ VMware ESX用サーバ:PowerEdge 2950×1台



### 複雑化するテスト環境を前に 高まる仮想化へのニーズ

アクサ損害保険株式会社では、保険のダイレクト販売を支える情報システムの多くを、社内で開催している。新しいアプリケーションの開発や既存アプリケーションの拡張など、常に複数の案件が動いており、案件単位またはプロジェクト単位で構築される開発・テスト環境は増え続ける一方である。また、1つのテスト環境に複数のサーバが必要になることも多く、環境が複雑になるほど、準備にかかる手間もコストも膨らんでしまう。開発・テスト部隊が直面していたこれらの課題は、必然的に解決策となる仮想化技術への関心につながっていった。

「1台のサーバに複数のテスト環境を持てれば、物理台数を一気に削減できるだけでなく、同一の開発・テスト環境を別に用意したいといった場合にも、仮想マシンのクローンを容易に作成できま

す。さらに、ある時点の環境のスナップショットを作成しておけば、雛形・バックアップとして使えるメリットもあります。仮想化の必要性は十分に認識していました」と語るのは、IT & ロジスティック本部 本部長代理の岩井丈仁氏。

とはいえ、ミッション・クリティカルなビジネス要件を問題なくクリアできるのかどうか。本番環境への導入も視野に入れる同社にとって、その有効性の見極めは避けては通れないアプローチである。そこで同社は、デルが展開していたモニタープログラムに応募。そこには、テスト環境における活用を通じて導入効果を確認すると同時に、仮想化に関するスキルに精通し、安定稼働に向けた手法を確立する狙いもあった。

### 多様なシステム要件に 高いパフォーマンスを発揮

モニタープログラムで提供されたの



アクサ損害保険株式会社  
IT & ロジスティック本部 本部長代理  
岩井文仁氏



アクサ損害保険株式会社  
サービスデリバリー部 フロントオフィス課エンジニア  
鈴尾智之氏

1台のサーバに複数のテスト環境を持てば、物理台数を一気に削減できるだけでなく、同一の開発・テスト環境を別に用意したい場合も、仮想マシンのクローンを容易に作成できます。仮想化の必要性を十分に認識しました。

——岩井文仁氏

は、VMware Infrastructure 3 がプリインストールされた、クアッドコア インテル®Xeon® プロセッサ搭載のPower Edge 2950。ユーザー側での面倒な設定作業を省き、導入後すぐに仮想化環境の利用を開始できるようになっており、まさに仮想化への第一歩を踏み出す絶好のチャンスとなった。

導入から半年間を経て、VMware ESX Server上に構築された仮想マシンは、当初の4台から16台にまで増えている。ゲストOSには、主にクライアント向け、サーバ向けでいくつかのWindowsを使用。最近ではLinuxも入れ

必要と思うメモリの約半分で、同等のパフォーマンスを出している点に驚きました。物理マシンと同様に扱えるメリットを感じています。

——鈴尾智之氏

始めた。また、ゲストOS上では、CTI (Computer Telephony Integration) システムのテスト環境兼トレーニング環境をはじめ、イントラネットサーバの擬似環境、メール送信システムやActive Directoryの検証環境などが稼働しており、多様なシステム要件に幅広く活用されていることが伺える。作業スペースはもちろん、テスト環境の構築にかかる時間は大幅に削減され、開発現場のモチベーションも一段と高まった。

エンジニアの鈴尾智之氏は、こう評価する。「仮想マシンの動作は思った以上に快適で、まったくストレスを感じませ

ん。経験上、『欲しい』と思うメモリの約半分で、同等のパフォーマンスを出しているのも驚きです。物理マシンに限りなく近い考え方で扱えるメリットも実感しています」

高いパフォーマンスと安定性を発揮できるのは、プロセッサに組み込まれた。

インテル バーチャライゼーション・テクノロジー (インテルVT) が仮想化を支援し、VMwareとの高い親和性を実現しているからにほかならない。また、「マルチコア化の進展に大いに期待しています」と鈴尾氏が語るとおり、VMware上で各ゲストOSが使用するコアを割り当てるなど、マルチコアならではの使い方にも興味を示す。

## 高い親和性が仮想化市場の成熟を促す鍵

「現在のように順調に動いているうちにはいいのですが、問題はトラブルが発生した時に、従来と同じプロセスで対処できるかという点です」と岩井氏。今後は事業継続の観点から、実運用面での検証が課題となる。また、災害対策やバックアップ環境を整備していく上でも、仮想化は重要な選択肢になりそうだ。

仮想化市場を牽引する最新のハードウェアとソフトウェアに求められるのは、高い親和性である。この点を強調する同社は、VMwareとクアッドコア インテル® Xeon® プロセッサの連携に、単なる統合化の手段を超えた多くの可能性を見いだそうとしている。

### VM (仮想マシン) の構成



**PowerEdge 2950**  
クアッドコアインテル® Xeon® プロセッサ E5345 (2.33GHz, 2×4MB L2 キャッシュ, 1333MHzFSB)  
8GB (4×2GB 2R) 667MHz Fully Buffered DIMM ECC DDR2 メモリ, 73GB 3.5 インチ SAS ハードディスク (15,000 回転) ×2  
VMware VI 3 Standard 3.0.1 (2 CPU) NFI  
3年サブスクリプション付き

- VM01**  
Windows Server 2003 Standard Edition x86  
Active Directory / テスト環境
- VM02**  
Windows Server 2003 Standard Edition x86  
メールサーバ / テスト環境
- VM03**  
Windows Server 2003 Standard Edition x86  
イントラネット・サーバ / 擬似環境
- VM04**  
Windows Server 2003 Standard Edition x86  
シンクライアント / テスト環境

- VM05**  
Windows Server 2003 Standard Edition x86  
シンクライアント / テスト環境
- VM06**  
Windows Server 2003 Standard Edition x86  
メール送信システム / テスト環境
- VM07**  
Windows Server 2003 Standard Edition x86  
バックアップ・プリンタサーバ
- VM08**  
Windows 2000 Server Standard Edition  
CTI システム / テスト・トレーニング環境

- VM09**  
Windows 2000 Server Standard Edition  
メール送信システム / テスト環境
- VM10**  
Windows XP Professional x86  
検証用
- VM11**  
Windows XP Professional x86  
英語版検証用
- VM12**  
Windows 2000 Professional  
コールセンター・ユーザー / 擬似環境

- VM13**  
Windows 2000 Professional  
ファイアウォール管理用端末
- VM14**  
Windows 2000 Professional  
検証用
- VM15**  
Vine Linux v4.1 x86  
ネットワーク管理 / テスト環境
- VM16**  
Vine Linux v4.1 x86  
検証用